

沼間小学校区地域連合会(住民自治協議会)第 6 回代表者会議の議事録

1. 開催日：2016 年 10 月 22 日（土曜）
2. 場所： 沼間コミュニティセンター学習室
3. 時間： 15 時 00 分～17 時 10 分
4. 出席グループ： 35 名

《町内会、自治会、管理組合等》

沼間一丁目自治会・富士見台協力会・東逗子海光町内会・沼間三丁目自治会・逗子グリーンヒル自治会・東町内会・興人東逗子自治会・マイキャッスル壺番館・参番館・沼間みどり自治会・桜和会・桜山四丁目町内会・逗子桜山ハイツ自治会・五桜会・逗子アーデンヒル自治会 : 15 (20 名)

《プロジェクト、関係団体：議決権有り》

ホテルの里の会(プロジェクト)・ずし子ども 0 円食堂(プロジェクト)、ズシップ沼間地区連合会・沼間小学校 PTA・東逗子子ども会連合会・湘南愛心会杜の郷・避難所運営委員会・エコ広場 : 7 (7 名)

《協力団体》青少年育成推進の会・社会福祉協議会・沼間小学校 : 3 (3 名)

《逗子市》逗子市協議会担当職員・市民協働課 : 4 名

《その他》オブザーバー : 1 名

■配布資料：

- ①[説明] 相模トラフ沿いの最大クラスの地震における被害想定と対策（沼間一丁目自治会）
- ②[案内] 第 9 回田越川一斉清掃 ホテル生息域川清掃（11 月 13 日 13:00-）
- ③[案内] ずし子ども 0 円食堂（11 月 2 日開催分：ずし子ども 0 円食堂プロジェクト）
- ④[案内] 沼小まつり（11 月 26 日 9:30-14:00）（沼間小学校 PTA）
- ⑤[案内] 秋まつり～沼間からつながよう★笑顔の和（逗子杜の郷）
- ⑥[案内] 地域と行政の合同ワークショップについて（市民協働課）
- ⑦[連絡] 神武寺トンネル拡幅工事による車両通行止めのお知らせ（逗子市環境都市部都市整備課）
- ⑧[連絡] 逗子市内でのイノシシの出没情報について（市民協働部生活安全課）
- ⑨[配布] 逗子の未来協議会レポート（経営企画部企画課）
- ⑩[案内] 東逗子会館 利用のご案内（東逗子会館運営委員会）

■司会進行役（磯部副会長兼事務局長）による第 6 回代表者会議の開会の宣言がなされた。

1. 代表者会議の開会における挨拶（永瀬会長）

・本日は、沼間小学校区地域連合会（住民自治協議会）に出席頂きありがとうございます。10 月は行事が多く皆様お疲れとは思いますが、当地域連合会は『第 4 土曜日午後 3 時から』を厳守して開催しておりますのでご出席を宜しくお願ひします。11 月の役員会はその代表者会議の日程を考慮し本来第 3 金曜日であるのを第 2 金曜日に開催させて頂きました。当協議会も着実に進捗しておりますので、本日も忌憚無い意見を頂ければ幸いです。

2. 議題

1) 協議会として討議事項と報告

(1) 主要道路渋滞の解消についての検討状況（桜和会 小林氏）

・逗子市都市整備課の加藤副主幹（窓口として事前に指定されている）と10月21日に会い、逗子市と連携をとる旨話したところ、道路を主管する神奈川県土木との繋がりを考慮すると、逗子市の土木課の方が窓口として妥当であるとの示唆を受けた。

・桜山トンネル（葉山から桜山に延伸するトンネル）の関連で県と市と近隣自治会の連絡会が近々行われるとのことで、その席に出席できるよう日程の調整を依頼した。

・右折車両に伴う渋滞を緩和するために、交差点に横断幕やプラカードを設置することを検討しているが、設置に関しては県による規定等の制約が多いうえ、沼間小学校前の横断橋のスペースも少なくさらにプラカード設置箇所の観点でも商店街の街路灯※を想定するなど色々な調整が必要であることが判ったので、逗子市と相談しながら検討を進めることとする。

・掲示するメッセージの募集については「沼間小学校区地域連合会だより」も利用して実施する。

※関連する商店会は、上桜山商店会、東逗子駅前商店会、東逗子商栄会である。

（２）崖崩れ、パトロール実施期日、コミュニティバス等の自治会・町内会・管理組合の検討状況

・崖崩れ危険箇所、各地域での防犯パトロール実施内容に関する調査を地域連合会事務局として実施している。さらに防災マップ、キャッチコピーを合わせて4点についても提出を受け付けている。

・集約されたものを再度各地域に照会する予定である。その際パトロールに関しては、実施状況が判るので空白域対応に関して検討するほか、崖崩れ危険箇所については、事務局・役員会で優先度の高いものを選定し逗子市に申し入れるなどの対応を取る予定である。（曾志副会長）

・「防犯パトロール実施内容に関する調査」については、2つの観点がある。一つは沼間小学校区地域内でのパトロールの実施状況を把握し共有することで未実施の地域への示唆であり、もう一つは地域全体でのパトロールの実施を啓蒙して犯罪者に対する抑止効果を図るという観点である。（永瀬会長）

・基本的な取り組みとしては、前者の観点では、未実施の地域への対応も見据えた地域の代表者への情報共有を進めること、後者の観点では、案として防犯ポスターを作ることも含めて沼間小学校区地域の防犯意識の高さを示すことを意識したうえで、収集された情報を踏まえ役員会で検討のうえ代表者会議に提示することとする。（磯部副会長兼事務局長）

・コミュニティバスに関する逗子アーデンヒル自治会の検討は十分進んでいないが、「総合的病院誘致」の話も出てきたのでこの状況を見据えて検討を進めたい。（逗子アーデンヒル 池羽氏）

（関連質問）

Q 1：パトロールの実施の際に、どのようなものを着衣し携帯されているか、参考に伺いたい。

（桜和会 小林氏）

A 1：沼間三丁目自治会では、防犯ジャケット・帽子・腕章を使用している。（永瀬会長）

C 1：ジャケットの購入に関して「パトロール」という一般的なものもあるが、これに組織名などの名前を入れると高くなる。（永瀬会長）

（３）沼間一丁目自治会会長の防災に関する説明（沼間一丁目自治会 藤田氏）配布資料①参照

・逗子が抱えている災害に関する危機意識が、逗子市行政にも市民住民の方にも乏しいとの認識があるので、「神奈川県地震被害想定調査報告書（H27年3月：神奈川県地震被害想定調査委員会）」を根拠にトピックを説明する。脅かす訳ではないが、実際に潜んでいる危険性を認識して欲しい。

【主な説明内容】 相模トラフでの地震発生時の逗子市の状況をピックアップ。

(1) 【震度】神奈川県下で震度6強が想定され沼間地域では田越川近辺で液状化被害が想定される。

(2) 【津波】最大12.8mが11分後に到達する。添付の「津波浸水想定図」からは沼間交番付近まで到達

達する可能性がある。高台や堅牢な高い建物への避難が必要。

- (3) 【建物被害】逗子市内で全壊 7,900 棟、半壊 5,140 棟と市内の約半数の家屋が大被害を受ける。
- (4) 【火災】20 ヶ所から同時出火するが、消防車両は 17 台しかないので 2,160 棟が全焼する。
- (5) 【重症者数】重篤な重傷者は 160 名見込むが、救急車両は 3 両しかない。
- (6) 【死者数】11,460 名。遺体安置所確保、輸送手段、火葬や仮埋葬などが困難となる。
- (7) 【避難者数】40,660 名のうち逗子市の収容可能人数を引くと、約 2 万人が避難所難民となる可能性がある。避難所収容能力は遠く及ばないので自宅が安全な場合は自宅避難が有効である。
- (8) 【帰宅困難者】2,020 名（神奈川県内では約 61 万人）
- (9) 【ライフライン】電力、都市ガス、上水道（復旧まで約 40 日）、下水道（復旧まで約 2 ヶ月以上）のライフラインは完全停止／機能障害を起こし、通信もほとんど停止する。
- (10) 【道路／鉄道】道路：県全体で約 1 ヶ月通行規制、鉄道：最大 10 日程度不通。

★大地震発生時の現実を認識する上で貴重な情報の紹介を頂いた。連合会としても何が出来るかを考えてゆきたい。（磯部副会長兼事務局長）

（４）沼間小学校区地域連合会設立までの経緯説明（永瀬会長） プロジェクトで説明

- ・沼間小学校区地域連合会（住民自治協議会）が順調に立ち上がってきているが、地域連合会設立に至る経緯と設立の主旨について改めて紹介したく説明の時間を頂いた。
- ・会長としてお願いしたいことは、関係者の努力で設立に至った経緯や地域連合会が進んでゆく方向（自主独立、地域全体での情報共有や課題解決）を理解のうえ、定例総会で示した 13 項目のテーマを一つずつ地道に取り組んで頂きたいということである。
- ・来年の 4 月までに久木小学校区住民自治協議会が設立され、逗子小学校区を除く 4 小学校区で住民自治協議会が立ち上がるので、意見交換しながら合意を取れば「逗子全体の地域」の発言としての重みを増すことが出来る。従って、代表者会議では、個々の地域の話題だけではなく地域の代表者としての課題認識のもとでの発言をしてもらいたい。

【主な説明内容】

- (1) 地域での自治会・町内会が活動していた中で沼間地域の課題を検討する「連合会設立準備会」を興しその後「地域連合会」を設立させた。
- (2) 背景には、当時逗子市内には 3 つの連合会があり行政に対して発言権を有していた。一方、沼間地域では 17 自治会・町内会で個別の活動を行っていたが連合会としての取り組みは無かった。
- (3) そのため、4 名（永瀬氏、杉山氏、小清水氏、橋本氏）のもと、連合会発足に向けて会則や設立趣旨等を一年ほど検討した。
- (4) その後「連合会設立準備会」を発足させた。市長の所信表明では「地域組織を設立させて権限と財源を付与し地域の権利の拡大を図り地域の多角的な課題に自発的に取り組み、真の市民自治を目指す」を提示されたので、地域連合会の設立主旨に合い意を強くした。
- (5) 2011 年 2 月に「沼間地域連合会を考える会」の説明会を開催し、自治会・町内会・管理組合・関連団体に対して意見を求め、一部反対意見もあったが、既存の地域の活動を阻害することではないことやまとまることで地域の総合的課題解決に向けて行政への強い発言権を有する窓口となることのできるなどの趣旨を理解頂き、設立総会を経て「沼間小学校区連合会」を設立させ各戸 50 円/年間の会費で活動を開始した。

- (6) 2012 年 6 月に行政から「逗子の新しい自治：自分たちの町を守り自分たちで作る」が配布されたが沼間地域の連合会の活動主旨と合致したこともあり「連合会」を「住民自治協議会」に移行させることを前提に検討を進めた。特に名称については「地域連合会(住民自治協議会)」とする旨、行政と合意した。
- (7) その後、「住民自治協議会設立準備会」を経て「地域連合会（住民自治協議会）設立」に至った。ここで、自主的な活動を実施するために、各戸 30 円/年間の会費を申し受けることとした。
- (8) なお、「連合会」時点では世帯数で 70%程度の加入率であったものが、現在の「地域連合会（住民自治協議会）」としては、世帯数で 90%まで向上している。
- (9) また、未加入自治会・町内会に対しては、(引き続き加入促進は実施する) 地域連合会のサービスとしてはハンデを付けるが、広報誌（沼間小学校区地域連合会だより）については全戸配布しようと役員会では検討を行っている。

(関連質問)

Q 1：現在払っている会費は、「地域連合会」あるいは「住民自治協議会」のどちらに払っていると考えればよいか（桜和会 小林氏）

A 1：「地域連合会」と「住民自治協議会」は一体である。実際は交付金で運営される住民自治協議会としての事業と、沼間地域での地域連合会としての自主的な事業を行っており、頂く会費は後者の位置づけで会計管理し利用している。（小清水会計役員、永瀬会長）

Q 2：「地域連合会（住民自治協議会）」という名称に少々違和感がある。（桜和会 小林氏）。

A 2：あくまで連合会としての自主独立の設立主旨を重んじて「連合会」を「住民自治協議会」に移行した経緯から当該名称になっている。（永瀬会長）

Q 3：敢えて理解を判りやすくすると、「地域連合会」の名称は沼間地域における共同体としての内向きの意識を表しており、「住民自治協議会」の名称は行政（逗子市）との対応を意識したものとするので良いか？（マイキャッスル参番館 横田氏）

A 3：その認識でよい。（永瀬会長）

C 4：住民自治協議会の交付金としての支出は「地域全体に関わる事項（代表者会議に配布する資料のコピー代金等）」であれば可能であるので会計まで相談願いたい。（小清水会計役員）

(5) その他（永瀬会長）

◆議事録作成／広報誌制作（沼間小学校区地域連合会だより）について（永瀬会長）

- ・定例の代表者会議の議事録作成業務を担う高木書記担当役員（マイキャッスル壺番館管理組合）と広報誌制作（沼間小学校区地域連合会だより）業務を担う武藤役員（桜山四丁目町内会）に感謝の意を示す。

◆逗子市総合計画審議会の報告（磯部副会長兼事務局長）

- ・逗子市総合計画（文書は企画課あるいはインターネット取得可能）は平成 27 年度から 24 年間の市政の基本計画を規定している。また、実施計画では最初の 8 年間分を策定しているが状況は変わっても小さな変更は一切しない。事業が実情に合わなくなれば、「廃止/中止」となる。
- ・審議会委員は 14 名で構成（公募市民 4 名、住民自治協議会(沼間、小坪、池子) 3 名、他の審議会代表 3 名、地方自治等学識経験者 4 名）され、リーディング事業（数十個）の進捗評価（予定通りか遅れがあるか）を「進行管理」（計画通り進んでいるか）をチェック実施する。
- ・総合的な「進行管理」としては、8/25 に評価が済んでおり『ほぼ計画通り』であった。

(関連質問)

Q 1 : 以前、総合計画策定段階で地域連合会からパブリックコメントとして頂いていた沼間地域に関する 4,5 項目の事業テーマについては、厳しくチェック願いたい（ホタルの里の会 松本氏）

A 1 : 沼間地域の住民自治協議会の代表として参加できているので、正に、地域に関連する事業について目を光らせたいと思う。（磯部副会長兼事務局長）

Q 2 : 総合計画を構成する様々な事業の底流にある目的は「人口減少を歯止めすること」であるので、事業は『ほぼ計画通り』であっても、逗子市は人口減少傾向にあることから真の目的は達成できていないという認識で「進行管理」を実施して頂きたい（ホタルの里の会 松本氏）

A 2 : 総合計画策定段階にも参画し人口減少抑止の観点から「逗子の目指すもの」は環境を守り、子育てや若い世代が住み易いと感じる状況を作ること、「生産人口」を維持することとの認識があるので、その観点で事業をチェックしてゆく。（磯部副会長兼事務局長）

◆まちづくりネットワーク会議の報告 （磯部副会長兼事務局長）（参加委員は曾志副会長）

・総合計画「進行管理」の一環でリーディング事業の審議会／懇話会の代表、住民自治協議会代表、逗子市の福祉・教育・文化の団体代表の間での意見交換や要望を提示する場である。市長も参加。

◆逗子の未来協議会の報告 （工藤副会長）

・無作為抽出の市民の方、住民自治協議会代表を含めた 75 名と、逗子市の職員 15 名の計 90 名で、毎月、5,6 名のグループでのワークショップを実施し市民目線での課題や問題解決を意見交換する。

◆逗子市地域福祉計画、逗子市の地域福祉活動計画懇話会の報告（永瀬会長）（参加委員は沼間一丁目自治会役員高橋氏）

・「新たな担い手の創出に向けて何か取り組んでいるか？」「地域福祉活動の周知・発信で取り組んでいることはあるか？」等のアンケートに答えて提出を行った。今後の懇話会の模様などを高橋氏に報告してもらう。

2) その他の連絡事項

・今後の代表者会議での提出資料は、50 部で準備願う。（磯部副会長兼事務局長）

3. 沼間小学校区住民自治協議会の活動状況

1) 避難所運営委員会活動報告 （避難所運営委員長 菅波氏）

・大災害時には自宅が無事な場合は自宅にて待機してもらい、避難所はあくまで自宅が危険な場合に皆で支えあって避難行動をする処となる。この趣旨を前提に検討や訓練を粛々と実施している。

2) 東逗子イルミネーション実施準備について（東逗子商栄会）

・現在、東逗子イルミネーションの設営準備を急ピッチで進めている。是非ともボランティアで参加のうえコミュニティ形成にも役立てて頂きたい。点灯式は 11 月 26 日（土）17:00

3) 防災施設マップ作成について （杉山氏、松本氏）

・各地域のデータを集約し校正刷り段階にきている。今日は校正段階の資料を持ち帰ってもらい、各地域でチェックの上、次回回収する手順である。

・問題となっている点は、桜山地域の空白部分のところであるので確認を継続する。

・「崖崩れ危険箇所」の取り纏めリストについては、市民目線という観点でピンポイントにて記載したいので情報を共有願いたい。

4. 地域の団体活動について

1) 沼間小学校区地域連合会プロジェクト

《プロジェクト1》ホタルの里プロジェクト：（ホタルの里の会 松本氏）

- ・田越川のホタル生息域の川清掃を11月13日(日曜)13時から実施する。**配布資料②参照**
集合場所は、沼間2丁目馬場橋、沼間3丁目六反目橋、沼間4丁目武道橋である。

《プロジェクト2》沼間小学校区・ずし子ども0円食堂：（代表 草柳氏） **配布資料③参照**

- ・10月5日に実施。今回は65名参加（内訳：子ども42名、保護者とスタッフ23名）。経費8,291円、印刷代1,200円、寄付も9,900円あり今回も黒字になった。実施報告は地域連合会会長並びに市民協働課に挙げている。
- ・アンケートを取ったところ、一人で食事することがある子供4名、食事を取らないことがある子供3名。悩んでいることでは、学校、勉強、生きていることという注視すべき状況も把握できている。
- ⇒ 情報をもとに小学校と連携取ったほうがよい（菅波氏）>了解。（代表 草柳氏）
- ・小坪小学校区住民自治協議会でも興味を持っているので草柳さんを紹介した。（永瀬会長）
- ・次回は11月2日（毎月第1水曜日）16時から、沼間コミュニティセンター。

2) 各協力団体の報告

(1) ブシップ沼間地区連合会（小池氏） 特に無し

(2) 東逗子子ども会連合会（曾志氏）

- ・10/9 体育祭を開催、当日雨のため急遽体育館での実施となったが無事終了することができた。（沼間小学校石井校長には対応等感謝する。）

(3) 沼間体育会（須田氏） 特に無し

(4) 沼間小学校PTA（匂坂氏）

- ・11/26(土曜)9:30-14:00で沼小祭りが開催される。**配布資料④参照**

(5) 東逗子商栄会（匂坂氏）

- ・11/6に朝市（毎月第一日曜）を開催。

(6) 逗子杜の郷（田邊氏） **配布資料⑤参照**

- ・3年目になる。秋祭りは10/23、地域との繋がりを大事に、生バンドや模擬店も開催するのでお越し願いたい。

(7) グリーンキャップ（半田氏） 特に無し

(8) エコ広場（吉氷氏）

- ・11/4,5に沼間コミュニティセンターで開催する。他の人に使って喜んで頂けるものをお願いする。

(9) 沼間小学校（校長 石井氏）

- ・日頃より子どもたちがお世話になっている。何かあれば気兼ねなく連絡願いたい。

(10) 社会福祉協議会（谷田氏）

- ・共同募金を10/1から、助け合い募金は12月から行う。12/21に福祉教育セミナーを開催する。

6. その他

1) 行政からのお知らせ（逗子市 村松氏）

(1) [案内]認知症サポーター養成講座（市民協働課 細野氏）

- ・沼間小学校区住民自治協議会を主催とした認知症やご家族を見守る応援者を増やす講習会を沼間コ

コミュニティセンター講堂で 150 名を募集して開催する。申し込み方法としては 2 つのルートがある。

「①各自治会・町内会で取り纏めて届ける方法」「②個人として沼間コミュニティセンターに申し込んで参加する方法」のいずれでもよい。当日の参加も可能とする。

(2) [案内] 地域と行政の合同ワークショップについて（市民協働課 細野氏） **配布資料⑥参照**
・沼間小学校区とのワークショップは 11 月 23 日（祝日）に開催する。時間は 10 時～15 時までと少々長い、住民自治協議会地域担当職員と住民自治協議会の活動内容や地域の課題の取り組み方などを率直に意見交換する予定です。

(3) [連絡] 神武寺トンネル拡幅工事が 11/1 より始まる。車両通行止めとなるので注意願いたい。

配布資料⑦参照

(4) [連絡] 逗子市内でのイノシシ出没情報があったので、注意並びに見掛けた際には市民協働部生活安全課に通報願いたい。 **配布資料⑧参照**

(5) [配布] 逗子の未来協議会のレポート（No.3 2016 年 10 月）を配布する。 **配布資料⑨参照**

(6) [案内] お出かけ円卓フォーラムのお知らせ（企画課職員が地域の皆さんのところに出向いて説明・意見交換を行う取り組み）10 名以上のグループや地域町内会・自治会等で申し込み頂きたい。

2) その他

・連合会だよりを部数増やして置いてあるので地域で持ち帰って頂きたい。（役員 武藤氏）

・[案内] 東逗子会館利用のご案内（東逗子会館運営委員会） **配布資料⑩参照**

司会進行役より代表者会議の終了を宣言した。

次回の代表者会議は 11月26日(土) 15:00～17:00 沼間コミュニティセンター
(次回の役員会は11月18日(金)19:00～同上)